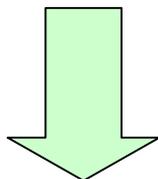


三宅島噴火災害の状況

1. 火山活動の経過

- 昨年6月26日 三宅島に緊急火山情報発表
- 7月 8日～ 三宅島・雄山で噴火
- 8月18日 大規模な噴火(噴煙14,000m)
- 8月29日 大規模な噴火(低温で弱い火砕流発生)



昨年9月より有毒ガス(二酸化硫黄等)の大量放出が始まり、現在も1日あたり約2～3万トンの二酸化硫黄の放出が継続中。



三宅島雄山火口

(写真左上の海岸沿いの地域に有毒ガスが流下している様子)

(平成13年6月2日)

2. 避難状況

昨年9月2日に全島民(3,855人)に対して島外避難指示が発令され、9月4日までに避難完了。

現在も、都営住宅等での避難生活が継続。

3. 主な対応

これまで、観測体制の整備や、都道・電力の機能確保、応急的な泥流対策等の作業を実施。

また、被災者への生活支援として、

- ・ 都営住宅の無償提供
- ・ 生活必需品31品目の供与
- ・ 雇用相談窓口の設置等による就業紹介
- ・ 被災中小企業者等の既往債務の返済猶予
- ・ 被災者生活再建支援金の支給

等を国、東京都等が密接に連携をとって実施。

7月より、有毒ガス除去装置を備えたクリーンハウスに作業員等が夜間滞在し、泥流対策等を集中的に実施する予定。

泥流等の家屋被害の大きい世帯、泥流対策のため家屋の撤去が必要となる世帯に限り、一時渡島を実施予定。



島外へ避難する住民の方々
(平成12年9月4日)



泥流により崩壊した林道
(平成13年6月2日)



クリーンハウス内の
有毒ガス除去装置